



平成29年度「田んぼの学校」指導者養成研修 in 広島  
開 催 要 項

- 1 目的 本研修では、「田んぼの学校」活動を通じた農村環境の維持や、人材を含めた地域資源のとらえ方などについて講義と実習で学び、「田んぼの学校」活動などの農村環境保全活動を実践する指導者等を養成します。

今回の研修では、広島県世羅町内で「田んぼの学校」活動をしている各団体の取組を参考としながら、「田んぼの学校」活動を実際に体験（「生きもの調査」を予定）したり、生物保全など地域資源の活かし方や様々な人と連携する地域活動についてのヒントなどを学びます。
- 2 主催 一般社団法人 地域環境資源センター
- 3 後援 農林水産省中国四国農政局（申請中）  
広島県土地改良事業団体連合会（申請中）
- 4 開催日 平成29年6月16日（金）13：00から  
平成29年6月17日（土）15：30まで（1泊2日）
- 5 会場 (1)研修会場及び宿泊場所  
せら香遊ランド（香遊温泉）  
（広島県世羅郡世羅町京丸809-3）  
※JR三原駅～広島空港～研修会場の送迎バスを手配します。  
(2)フィールド  
せら夢公園自然観察園、ビオトーチ（世羅町田打）等
- 6 対象 農村環境を活用した自然体験・環境教育に関心のある方、多面的機能支払交付金活動組織の役員・構成員、自治体職員の企画担当の方、土連職員、その他「田んぼの学校」活動に関心のある方など
- 7 定員 30名（最小催行人員15名）

- 8 費用
- (1) 受講費：5,000円（保険料含む）
  - (2) 宿泊費：3,700円（1泊朝食）
  - (3) 夕食&情報交換会代+2日目昼食代：4,500円程度（調整中）
- ☆以下の点について、予めご了承ください。
- ・受講料の納入は指定の銀行口座への振込のみとさせていただきます。
  - ・お部屋は相部屋（4～6人ずつのお部屋）となります。（浴衣歯ブラシ等ご持参ください。）
  - ・情報交換会は、せらワイナリーにて開催予定

## 9 参加申込

- (1) 申込方法 別紙「参加申込用紙」に必要事項を記入いただき、FAXまたはメールにて以下の宛先にお送り下さい。
- (2) 申込宛先 （一社）地域環境資源センター 農村環境部 宛  
FAX：03-3432-0743  
メールアドレス：tanbogk@jarus.or.jp
- (3) 申込期限 平成29年6月8日（木）

## 10 申込の受理および受講決定

お申込は、先着順に受理します。参加者には開催日1週間前を目途に「事前資料」「受講料請求書」をお送りします。

また、最小催行人数に達せず中止となる場合は、6月9日までにご連絡させていただきます。

## 11 集合場所及び送迎バスについて

- (1) 公共交通機関でお越しの方
  - ① JR三原駅 11:00集合（10:49着（下り）／10:25着（上り））
  - ② 広島空港 12:00集合（ANA675便11:00着／JAL257便11:15着）JR三原駅～広島空港～研修会場 送迎バスにてご案内します。  
各自お昼をご持参ください。
- (2) 自家用車でお越しの方・・・直接、研修会場へ12:50までにお越し下さい。

## 1 2 講師紹介

- (1) 日鷹 一雅（愛媛大学農学部生物資源学科 准教授）  
専門は、農業生態学、応用動物昆虫生態学、作物栽培学。  
広島県内で開催されている「たんぼの学校」活動に多くに関わり、水田の中の生物多様性に着目し、水田周りの魅力を多方面へ発信している。
- (2) 延安 勇（せら夢公園自然観察園 主任）  
現職には平成28年4月より着任。JA尾道市環境農業研究会、世羅・御調の自然研究会所属。  
「たんぼの学校 たんぼでがんばー」を開催する一方、世羅町・御調町内で開催されている「たんぼの学校」活動や田園自然再生活動に多く関わっている。

## 1 3 その他

- (1) 農業農村工学会技術者継続教育機構  
本研修は、農業農村工学会技術者継続教育機構の認定プログラムに申請中です。本研修のCPDは、9ポイントとなる見込みです。

## 1 4 問い合わせ先

一般社団法人 地域環境資源センター 農村環境部 担当：山崎、藤田  
住所 〒105-0004 東京都港区新橋五丁目34番4号  
農業土木会館6階  
電話 03-5425-2461  
FAX 03-3432-0743  
「たんぼの学校」ホームページ <http://www.tanbonogakko.net/>  
E-mail : tanbogk@jarus.or.jp

## 1 5 プログラム

次頁



この活動は、子どもゆめ基金（独立行政法人国立青少年教育振興機構）の助成金の交付を受けて行うものです。

## 1.5 プログラム

- \* 屋外での実習もありますので、動きやすい服装でご参加ください。また、雨天でも基本的に屋外には出ますので、雨具等もご準備下さい。

### 【1日目：6月16（金）】

時間	所要	講義・実習	概要
12:50		集合、受付	
13:00	15分	開会(挨拶、趣旨説明、スタッフ紹介等)、オリエンテーション	
13:15～13:45	30分	「田んぼの学校」指導者の役割	(室内・講義) ・今、求められている人材とは
13:45～14:45	60分	アイスブレイク (お互いを知る時間)	(室内・実習) ・緊張を解きほぐす ・参加者同士の相互理解
14:55～15:55	60分	世羅町内で開催されている 「田んぼの学校」活動について	(室内・講義) ・世羅町内の各フィールド紹介 ・地域資源の活かし方、地域の生物多様性へのこだわり ・農業との関わり
16:00～17:15	75分	せら夢公園自然観察園の見学 (屋外)	(室外・実習) ・フィールド見学 ・ヒョウモンモドキの観察
17:30～19:30		夕食及び情報交換会	

### 【2日目：6月17日（土）】

時間	所要	講義・実習	概要
8:30～9:00	30分	安全管理について	(室内・講義) ・「田んぼの学校」活動時の留意点
9:00～12:00	180分	体験学習「生きもの観察会」 (屋外、移動を含む)	(室外・実習) ・生きもの観察会の手順 ・生きもの観察会の体験
12:00～13:00		昼食	
13:00～14:00	60分	水田の内なる生物多様性	(室内・講義) ・生物多様性の活かし方 ・水田の魅力
14:10～15:00	50分	それぞれの取組・「田んぼの学校」事例紹介等	(室内・実習) ・それぞれの取組情報交換 ・「田んぼの学校」事例紹介 ・農村環境保全活動のこれから
15:00～15:30	30分	ふりかえり	
15:30		終了・解散	

\* 各講義、実習の間で適宜休憩をとります。

\* 効果的な研修となるようカリキュラムを変更することがあります。予めご了承ください。